



## 平成26年度 元離宮二条城「築城400年記念 展示・収蔵館」展示事業について

元離宮二条城では、貴重な障壁画を恒久的に保存するため、昭和47年から二の丸御殿の障壁画の模写を行っており、現在、式台、大広間、黒書院及び白書院の障壁画のほぼ全てを模写障壁画にはめ替え、原画を順次「築城400年記念 展示・収蔵館」に収蔵し、展示公開しています。

この度、平成26年度の展示事業を、下記のとおり開催しますので、お知らせします。

なお、当館の展示期間中は、収蔵されている障壁画の原画（オリジナル）を間近に見ることができません。是非この機会に御来城ください。

### 記

#### 1 展示内容及び期間

- (1) 第1期：「待ち受ける虎たち～〈遠侍（とおざむらい）〉虎の間の障壁画～」  
平成26年4月24日（木）～6月22日（日）〔60日間〕
- (2) 第2期：「〈白書院〉水墨画傑作選～將軍の居室（きょしつ）に描かれた風景・人物・花鳥～（仮）」  
平成26年7月11日（金）～9月15日（月・祝）〔60日間〕
- (3) 第3期：「咲き渡る菊、舞い散る扇～〈黒書院〉の秋を楽しむ～（仮）」  
平成26年10月2日（木）～11月30日（日）〔60日間〕
- (4) 第4期：「壮麗なる鳥たち～〈大広間〉に棲（す）む鷹と孔雀～（仮）」  
平成26年12月20日（土）～平成27年3月1日（日）〔60日間〕

※詳細は別紙のとおり。

※二条城が休城日のため休館となる日：

7月15日（火）、7月22日（火）、7月29日（火）

8月5日（火）、8月12日（火）、8月19日（火）、8月26日（火）

12月24日（水）※12月23日（火・祝）の振替休城日、12月26日（金）～1月1日（木・祝）

1月6日（火）、1月13日（火）、1月20日（火）、1月27日（火）

#### 2 開館時間

午前9時～午後4時45分（受付は午後4時30分まで）

※二条城の入城受付は、午後4時まで。

※1月2日（金）～1月4日（日）は午前10時～午後3時45分（受付は午後3時30分まで、二条城の入城受付は午後3時まで）。

#### 3 入館料

100円（小学生以上）

※別途入城料（一般600円、中高生350円、小学生200円）が必要。

※減免等については、入城料と同じ取扱いとします。

#### 4 場所

元離宮二条城内 築城400年記念 展示・収蔵館  
（京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地）

## 5 問合せ先

京都市文化市民局元離宮二条城事務所

〒604-8301 京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地  
TEL:(075)841-0096/FAX:(075)802-6181

## 6 ギャラリー・トーク

二条城学芸員が、第1期展示事業について詳しく解説するギャラリー・トークを実施します。

### (1) 日時

平成26年5月17日(土) 午後2時～(約30分間)

### (2) 参加方法

当日、30分前から館内で受け付けます。

### (3) 定員

先着40名

### (4) 参加料

無料(ただし、入城料及び入館料は必要)

※第2期～第4期のギャラリー・トークについては、別途お知らせします。

### 【参考】 元離宮二条城「築城400年記念 展示・収蔵館」の概要

「築城400年記念 展示・収蔵館」は、昭和57年に重要文化財指定を受けた二の丸御殿障壁画を恒久的に保存するため、二条城築城400年を記念して、平成16年3月に竣工し、平成17年10月10日に開館しました。

当施設は、障壁画が御殿と同じ配置で収納されている収蔵庫の一部を、ガラス越しに鑑賞できる画期的な設計となっています。

また、展示室では、二の丸御殿障壁画に関する資料や飾金具(かざりかなぐ)、城内から発掘された埋蔵文化財も展示しています。



「築城400年記念 展示・収蔵館」外観



「築城400年記念 展示・収蔵館」内観

本件に関するお問合せ先(イベントに関するお問い合わせなど)

京都市文化市民局元離宮二条城事務所 担当: 清水・中野

電話: 075-841-0096 FAX: 075-802-6181

E-Mail: shicg284@city.kyoto.jp(清水) / suqdb429@city.kyoto.jp(中野)

## 平成26年度 元離宮二条城「築城400年記念 展示・收藏館」の展示内容

	公開日程	展示内容	展示作品
第1期	4月24日(木)～ 6月22日(日) 〔60日間〕	待ち受ける虎たち～〈遠侍〉虎の間の障壁画～ 二の丸御殿の〈遠侍〉は、御殿に昇る者が最初に足を踏み入れる棟で、その中でも虎の間と呼ばれる一の間・二の間・三の間は、彼らの控えの場としての役割を担っていました。これらの部屋には猛々しい虎や豹が描かれ、あたかも訪問者に将軍の家臣としての立場をわかまえさせるかのごとく、睨みを利かせています。今年度最初の展示は、展示・收藏館では初公開となる虎の間の障壁画の御紹介です。観る者を威嚇するような虎たちの雄姿を、ぜひ間近で御覧ください。	〈遠侍〉一の間・二の間・三の間障壁画《竹林群虎図》、〈遠侍〉杉戸絵《竹虎図》
第2期	7月11日(金)～ 9月15日(月・祝) ※7月15日・22日・29日・ 8月5日・12日・19日・26日は休館 〔60日間〕	〈白書院〉水墨画傑作選～将軍の居室に描かれた風景・人物・花鳥～(仮) 二の丸御殿の〈白書院〉は、将軍の居室とされています。御殿の他の部屋の障壁画が、金地に鮮やかな色彩を誇るのに対し、〈白書院〉一の間から四の間の障壁画は、水墨を基調とする穏やかな画面を特徴としています。一の間・二の間は西湖の風景を、三の間は伝説・歴史上の人物を、四の間は雪景色の中の鳥たちを描きます。本展では、これらバラエティに富んだ〈白書院〉水墨画の中から、見応えのある場面を選びすぐり、はじめて一堂に展示します。	〈白書院〉一の間・二の間障壁画《西湖図》、〈白書院〉三の間障壁画《山水人物図》、〈白書院〉四の間障壁画《花鳥図》
第3期	10月2日(木)～ 11月30日(日) 〔60日間〕	咲き渡る菊、舞い散る扇～〈黒書院〉の秋を楽しむ～(仮) 二の丸御殿〈黒書院〉四の間の、秋の風情に満ちた障壁画の展示です。四の間では、柴垣や流水と共に部屋を取り巻く菊花と、散開する扇と薄が閑雅な構図を展開しています。菊花と柴垣には胡粉を厚く盛り上げる描法が用いられており、浮彫りのような立体的な画面を間近でご覧いただけます。また、菊花の上の壁に描かれた数十面もの扇には一面として同じものがなく、絵師の卓越した意匠性があらわれています。秋の花をあしらった杉戸《花籠図》と共に、二の丸御殿の秋を御堪能ください。	〈黒書院〉四の間障壁画《菊図》《秋草扇面散図》、〈黒書院〉杉戸絵《花籠図》
第4期	12月20日(土)～ 平成27年3月1日(日) ※12月24日・26日～1月1日・ 6日・13日・20日・27日は休館 〔60日間〕	壮麗なる鳥たち～〈大広間〉に棲む鷹と孔雀～(仮) 二条城障壁画の中で最も有名な《松鷹図》と、華麗な孔雀が彩りを添える〈大広間〉二の間の障壁画を展示します。眼光鋭い鷹が描かれた《松鷹図》は、力強い桃山様式を受け継ぎ、勇壮な空間を演出しています。将軍に対面する諸大名たちが控えた二の間には、美しい羽色の孔雀たちが互いに呼応しあうかのように描かれており、華やかさと優美さが感じられるでしょう。〈大広間〉のそれぞれの部屋の役割に沿って描き分けられた、鳥たちの饗宴をお楽しみください。	〈大広間〉二の間障壁画《松孔雀図》、〈大広間〉四の間障壁画《松鷹図》